

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-7	中学校	音楽科	音楽 (一般)	第2・3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	音楽 825 826	中学音楽 音楽のおくりもの		

1. 編修の趣意及び留意点

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」と、学習指導要領に示された目標を、具体的な活動を通して達成することを目指しました。

日本の歌 浜辺の歌

108 くらい 優美に mp

1 あし たーは
2 ゆう べーは

我が国の自然や四季の美しさを表現する歌曲を取り上げ、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。

夢は大空を駆ける

120 くらい

1.2 み だりの だいち を ふみしめて

表現したいイメージを伝え合うなどして協同する喜びを体験し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。

本教科書の三つの柱

生命が羽ばたくとき 4 語りあおう 6 You Can Fly! 8 そよぐ風の中で 10	捉えながら 音楽の要素を	小フーガト短調 26 交響曲第5番 ハ短調 作品67 30
浜辺の歌 12 花の街 16 早春賦 18	さまざまな音楽文化 — 日本と世界 —	雅楽「越天楽」 33-① 歌舞伎「勤進帳」 34 日本と世界をつなぐ音 40
夢は大空を駆ける 22 この星のどこかで 24	聴き深める喜び 歌い合わせ	交響組曲「シェラザード」から 第2楽章 42 組曲「展覧会の絵」から 44

交響曲第5番 ハ短調 作品67

ベートーヴェン 作曲

さまざまな楽器の音色や組み合わせ方、音楽の構成の仕方などについて、聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。

伝えてみよう! オーケストラの響きや全楽器に現れるリズムの共通感を聞き取り、写し込んだ楽譜について、よかったところや、それを選んだ理由を述べてみよう。

音楽に対する自己の価値意識をもち、音や言葉で表現することから、個人の価値を尊重して創造性を培う。

我が国の音楽文化に一層親しみ、他国の音楽文化の多様性や固有性を理解することから、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う。

日本と世界をつなぐ音

アンなどで作られたリードを振動させて音を鳴らす楽器は、わが国の舞臺に使われ世界各地に同じ仕組みの楽器があります。また、胴体に弦を張り、弦を振動させて音で使われる楽器をはじめ、多種多様な楽器が存在します。

発音の仕組みや構造が同じ楽器を、わが国や世界各地から探し出して聴き比べてみましょう。

リードを振動させて音を鳴らす楽器

リードは、アンなどの植物の葉から作られていて、これを振動させて音を鳴らしています。

① 雅楽 (p.33, 口絵を参照)

2. 編修の基本方針

本教科書は、**教育基本法第二条に示す教育の目標及び学習指導要領の目標**を達成するために、構成・内容と教材の選択について、以下のような方針で編修しました。

<p>☆生徒が音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるように、幅広い知識と教養を身に付けられる構成・内容としました。</p> <p>☆生徒一人一人が個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。</p>	構成・内容	<p>☆表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすことができるように、系統的な構成・内容としました。</p> <p>☆様々な音楽活動を通して、音や音楽への興味・関心を高められるように配慮しました。</p>
<p>☆歌い合わせ聴き深める活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるものを精選しました。</p> <p>☆我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、日本と他国の音楽文化の共通点や相違点を探ることのできる教材と資料について考慮しました。</p>	教材の選択	<p>☆教材は時代や曲種等に偏りなく、幅広いジャンルの中から、親しみやすかつ学習指導要領の各指導事項に即したものを精選しました。</p> <p>☆我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの、その気持ちを促す資料について考慮しました。</p>

3. 対照表

図書の内容・構成と**教育基本法第二条の第1号から第5号**との対応を示します。

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
With My Heart	○著名な音楽家からのメッセージなどを掲載し、生徒の豊かな情操の育成に配慮しました。〈第1号〉	○巻頭口絵

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>音楽の要素を捉えながら</p>  <p>……</p> <p>さまざまな音楽文化 — 日本と世界 —</p>  <p>……</p> <p>歌い合わせ 聴き深める喜び</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ったり、音楽のよさや美しさを味わったりできるように配慮しました。〈第1号〉 ○生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。〈第2号〉 ○歌い合わせる活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる点を重視しました。〈第3号〉 ○生命を尊ぶ内容が感じ取れる歌詞を重視しました。〈第4号〉 ○写真や資料等を配し、我が国の自然や四季の美しさを大切に する気持ちを育むように配慮しました。〈第4号〉 ○我が国の自然や四季の美しさ、暮らしとの関わりを感じ取れる 点を重視しました。〈第5号〉 ○我が国の伝統音楽の特徴を感じ取れるものを重視しました。 〈第5号〉 ○郷土の祭りや芸能などが、伝統的な歌唱という点を重視しまし た。〈第5号〉 ○日本と他国の音楽文化の共通点や相違点を探る教材の充実を 図りました。〈第5号〉 	<p>Op.4～47 (上), p.4～39 (下)</p> <p>Op.4～47 (上), p.4～39 (下)</p> <p>Op.4～25 (上), p.4～23 (下)</p> <p>Op.4～5 (上)</p> <p>Op.12～19 (上), p.4～9及び p.14～15 (下)</p> <p>Op.12～19 (上), p.4～9及び p.14～15 (下)</p> <p>Op.33-①～37 (上), p.33-①～37 (下)</p> <p>Op.18～19 (下)</p> <p>Op.40～41 (上), p.32～32-② (下)</p>
<p>音のスケッチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ったり、音楽のよさや美しさを味わったりできるように配慮しました。〈第1号〉 ○生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うように配慮 しました。〈第2号〉 ○和楽器の音色や響き、奏法や楽曲の特徴などを感じ取れるよ うに配慮しました。〈第5号〉 	<p>Op.48～49及び p.50～51 (上), p.40～41及び p.46～47 (下)</p> <p>Op.48～49及び p.50～51 (上), p.40～41及び p.46～47 (下)</p> <p>Op.50～51 (上)</p>
<p>Let's Try!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○郷土の祭りや芸能などが、協力して行われる行事である点を 重視しました。〈第3号〉 ○我が国の伝統音楽の特徴を感じ取れるものを重視しました。 〈第5号〉 	<p>Op.54 (上)</p> <p>Op.38～39 (上), p.34～35 (下)</p>
<p>どんな特徴があるかな?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ったり、音楽のよさや美しさを味わったりできるように配慮しました。〈第1号〉 ○生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うように配慮 しました。〈第2号〉 ○和楽器の音色や響き、奏法や楽曲の特徴などを感じ取れるよ うに配慮しました。〈第5号〉 	<p>Op.48～49 (下)</p> <p>Op.48～49 (下)</p> <p>Op.56～57 (上)</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
学習資料	<p>○幅広い知識を身に付けられるように配慮しました。〈第1号〉</p> <p>○音楽を生かせる職業を示し、勤労を重んずる態度を養う手立てとしました。〈第2号〉</p> <p>○知的財産権を理解し、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画する手立てとしました。〈第3号〉</p> <p>○東日本大震災復興に関連して、生命を尊び環境の保全を意識する手立てとしました。〈第4号〉</p> <p>○我が国の伝統音楽の特徴を感じ取れるものを重視しました。〈第5号〉</p>	<p>Op.58～65及び p.84～84-②(上)、 p.54～65及び p.84～84-②(下)</p> <p>Op.52～53(下)</p> <p>Op.50～51(下)</p> <p>Op.52～53(下)</p> <p>Op.52～53(上)</p>
歌のアルバム	<p>○音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ったり、音楽のよさや美しさを味わったりできるように配慮しました。〈第1号〉</p> <p>○生徒一人一人がその能力を伸ばし、創造性を培うように配慮しました。〈第2号〉</p> <p>○歌い合わせる活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる点を重視しました。〈第3号〉</p> <p>○東日本大震災復興に関連して、生命を尊び環境の保全を意識する手立てとしました。〈第4号〉</p> <p>○写真や資料等を配し、我が国の自然や四季の美しさを大切に する気持ちを育むように配慮しました。〈第4号〉</p> <p>○我が国の自然や四季の美しさ、暮らしとの関わりを感じ取れる点を重視しました。〈第5号〉</p>	<p>Op.66～83(上下)</p> <p>Op.66～83(上下)</p> <p>Op.66～83(上下)</p> <p>Op.68～70(下)</p> <p>Op.80～81(上下)</p> <p>Op.80～81(上下)</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

☆特色1 見やすく、わかりやすい紙面

判型はAB変型判を採用し、楽譜や写真、その他の必要な情報を見やすく掲載しています。

☆特色2 小学校音楽との関連

〔共通事項〕の扱いは、小学校からの学習の積み重ねと系統性を考慮しました。また楽典は、小学校で学習した内容を併せて掲載しました。

☆特色3 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応…色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザイン(CUD)は第三者機関による審査及び認証を受けています。

環境への配慮…教科書の印刷にはグリーン電力を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、再生紙と植物油インキを使用しています。

編 修 趣 意 書

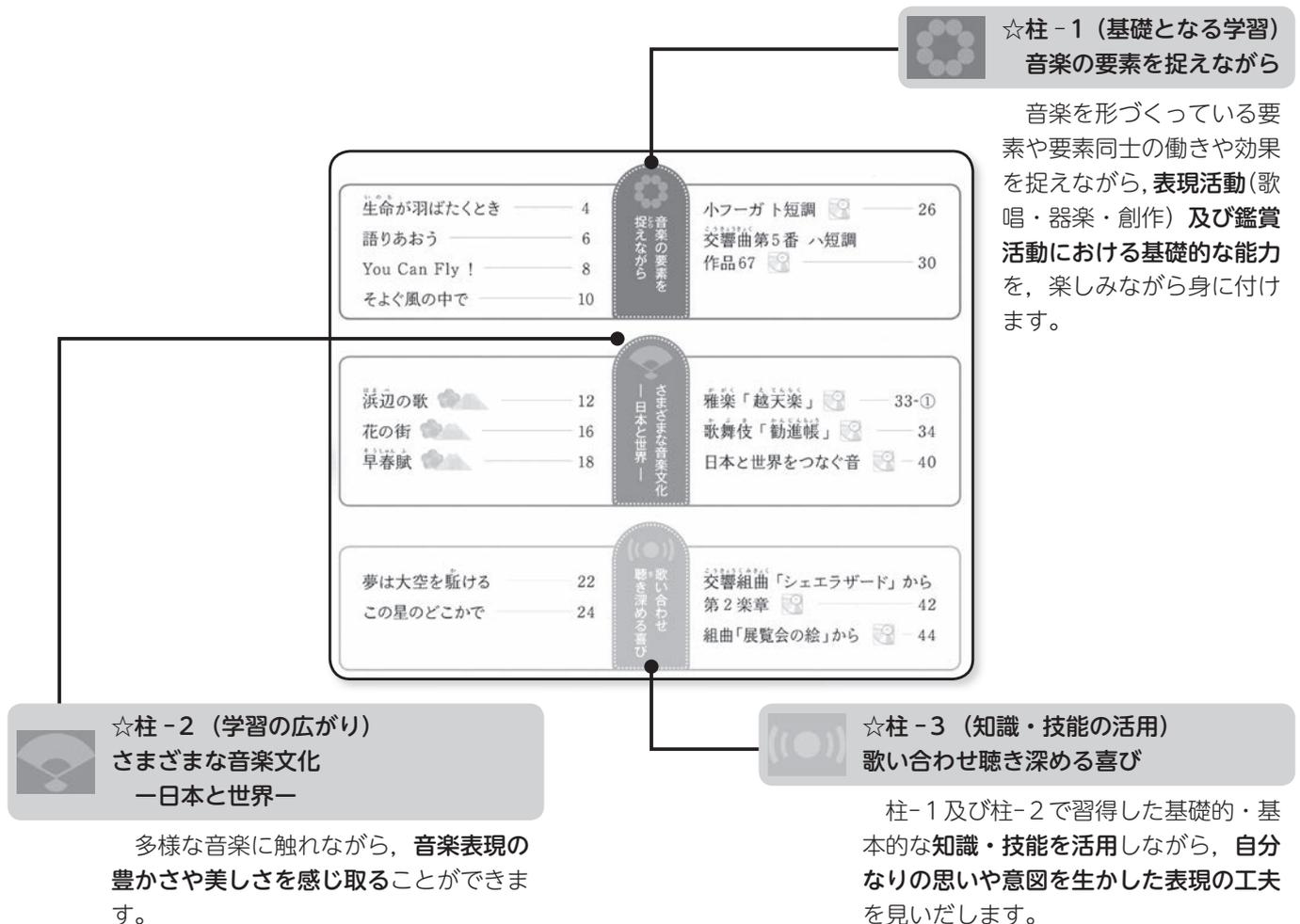
(学習指導要領との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-7	中学校	音楽科	音楽（一般）	第2・3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	音楽 825 826	中学音楽 音楽のおくりもの		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

○基本的な構成と趣意

本教科書では、学習指導要領の目標及び内容を、具体的な活動を通して達成することを目指しました。【共通事項】を窓口に音楽を捉えながら、表現及び鑑賞の幅広い音楽活動を展開することをねらいとし、基礎・広がり・活用の「三つの柱」で構成しました。



☆ 学習のポイント

柱-1, 2, 3では、学習のねらいに即した学習のポイントを各教材二つずつ示しました。これらのポイントは、生徒が主体的な活動を展開していく上で「めあて」となったり、「評価の指針」となったりするように配慮しました。

↑ p.4 (2・3上) 「生命が羽ばたくとき」

p.40 (2・3上) 「日本と世界をつなぐ音」 →

リードを振動させて音を...

リードは、アシなどの植物の茎から作られていて、これを振動させて音を出す仕組みを理解し、音色(おんしき)や響き(おんこ)を味わおう。

日本と海外の音楽を聴き比べ、その多様性を感じ取ろう。

ショーム

☆ 音のスケッチ

生徒が主体的に取り組みながら旋律をつくったり、構成を考えながら音楽をつくったりする創作のコーナーです。

自分の気に入った旋律ができたら下の鍵盤に記録しよう。記録した旋律を弾いてみよう。

活動

い (C) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

ろ (D) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

は (E) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

五 (強く弦を弾く)
四 1拍
三 2拍
二 3拍
一 4拍

○...前の音をのぼす

p.50 (2・3上)

☆ Let's Try!

様々な音楽を楽しみながら、声や楽器の基礎的な表現の技能を養うコーナーです。能の音楽なども体験します。

能「羽衣」
キリから
(大ノリ)

あーず 東 遊 び の 一 か ざ か ざー にー

大鼓
小鼓
太鼓

p.34 (2・3下)

☆ どんな特徴があるかな？

〔共通事項〕(1)-アの、音楽を形づくっている要素や要素同士の働きに注目し、生徒それぞれが気づいたことや感じ取ったことを互いに話し合うコーナー。「さくら変奏曲」「青少年のための管弦楽入門」のそれぞれの変奏を聴き、聴き取ったことや感じ取ったことを記録しながら、音楽への自分なりの価値や意味などを考え伝え合う「伝えてみよう!」を設定しています。(2・3上 p.56, 2・3下 p.48)

みなさんは、変奏4と変奏5を聴いて、どんな違いを感じましたか? その違いは、音楽を形づくっている要素の何によるものなのか、もう一度注意して聴いてみましょう。

<例> 落ち着いた感じ、美しい感じ など

また、次の変奏6を聴いてみて、音楽を形づくっている要素や雰囲気の変化などについて、聴き取ったり感じ取ったりしたことを伝え合ってみましょう。

伝えてみよう!

変奏6

p.56 (2・3上)

☆ 発展 音の三要素 PART-1, PART-2

音の三要素を物理的にわかりやすく説明します。(2・3上下とも p.64)



☆ 学習資料

〔共通事項〕(1)-イの用語や記号については、当該ページや当該ページの小口に掲載しました。また2・3上下ともp.84の「楽典」には、どのページで扱っているかをマーク及びページ番号で示しました。

ff フォルティッシモ → p.84-②	← p.23 (2・3上) 小口の部分
D.C. ダカーダ → p.84-②	p.84-②(2・3上) ↓ 「楽典」
a tempo アレテンポ → p.84-②	23 フォルティッシモ ff とても強く

☆ 歌のアルバム

生徒や学校の状況に応じて随時、選択的に取り扱うことのできる歌唱教材を配しました。また、**表現活動のねらいに即したポイント**を「**工夫してみよう**」として示しました。



工夫してみよう
歌詞の内容を味わい、曲想を生かした表現を工夫してみよう。

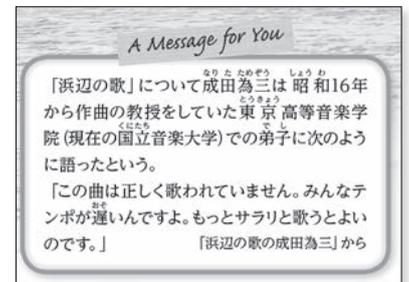
○ その他の特色

☆ 授業に役立つ資料の充実

AB変型判を採用し、楽譜や写真、その他の必要な情報を見やすくすると同時に、授業に役立つ資料などを充実させました。

歌唱共通教材…日本の四季や自然の美しさを感じ取れる写真と、具体的な資料として参照できる写真を掲載しました。また、**作者が語った作品への思い**も適宜扱っています。

「交響曲第5番 八短調」、雅楽「越天楽」(2・3上 p.30, p.33-①) / くらしとともにあるさまざまな音楽、能「羽衣」キリから (2・3下 p.32, p.33-①) / 日本の楽器、さまざまな舞台芸術 (2・3上下とも巻末折込ページ) では、豊富な楽譜や写真資料、図版を用いて解説しています。



「A Message for You」↑
例; p.12 (2・3上) 「浜辺の歌」

→ 〈写真資料〉
例; 巻末口絵 (2・3上) 「日本の楽器」



音楽史年表…作曲者と歴史(音楽史)の背景が簡潔にわかる「**音楽史年表**」を、鑑賞ページの右側小口に設置しました。

☆ 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

ユニバーサルデザインや特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザインは第三者機関による審査及び認証を受けています。

環境への配慮

教科書の印刷には**グリーン電力**を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、**再生紙と植物油インキ**を使用しています。

2. 対照表 (◎…主に取り扱う指導事項, ○…取扱いが可能な指導事項)

【第2・3学年 上】

教材	該当箇所	A表現										B鑑賞				共通事項			
		(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作		(4)教材		(1)鑑賞			(2)教材	(1)			
		ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ		ア	イ	ウ		ア	イ	
											(ア)	(イ)							
<p>我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに適切で、生徒の意欲を高め親しみのものであること。 表現したいイメージをもち、音楽材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。 言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。 楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。 曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること。 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。</p>																			
生命が羽ばたくとき	p.4～5	◎	○	○							○							◎	○
語りあおう	p.6～7	○	○	◎							○							◎	○
You Can Fly!	p.8～9	◎	○	○							○							◎	○
そよぐ風の中で	p.10～11	○	○	◎							○							◎	○
浜辺の歌	p.12～15	◎	○		○	◎					○							◎	○
花の街	p.16～17	○	◎								○	○						◎	○
早春賦	p.18～19	○	◎								○	○						◎	○
指揮をしてみよう	p.20～21											○						◎	○
夢は大空を駆ける	p.22～23	◎	○	◎							○							◎	○
この星のどこかで	p.24～25	○	○	◎							○							◎	○
小ワナーガト短調	p.26～29												◎	○		○	◎	◎	○
交響曲第5番 八短調	p.30～32-②												◎	○		○	◎	◎	○
雅楽「越天楽」	p.33-①～33												○	◎	◎	○	◎	◎	○
歌舞伎「勸進帳」	p.34～37												○	◎	◎	○	◎	◎	○
「越天楽」を体験しよう	p.38					○	◎				○		○					◎	○
歌舞伎を体験しよう	p.39					○	◎				○		○					◎	○
日本と世界をつなぐ音	p.40～41												○	○	◎	○	◎	◎	○
交響組曲「シェラザード」から第2楽章	p.42～43												○	◎		○	◎	◎	○
組曲「展覧会の絵」から	p.44～47												○	◎		○	◎	◎	○
動機を生かした旋律をつくろう	p.48～49							◎	○									◎	○
構成を工夫して箏で表現してみよう	p.50～51					◎	○	◎										◎	○
郷土の民謡や芸能を調べてみよう	p.54										○				◎	○	◎	◎	○
民謡を楽しもう	p.55	○	◎		○	◎					○							◎	○
大切なもの	p.66～67	◎	○	◎							○							◎	○
With You Smile	p.68～70	◎	○	◎							○							◎	○
HEIWAの鐘	p.71～73	◎	○	◎							○							◎	○
かえるがそらを	p.74	○	○	◎							○							◎	○
雪の降る街を	p.75	◎	○								○	○						◎	○
小さな雲 (オブラーチェ)	p.76	○	○	◎							○							◎	○
時計台の鐘	p.77	◎	○	◎							○	○						◎	○
アメーzing・グレイス	p.78	○	◎	◎							○							◎	○
ほたるの光	p.79	◎	○	◎							○	○						◎	○
故郷 (混声三部合唱)	p.80～81	◎	○	◎							○	○						◎	○
君が代	p.82～83	◎	◎								○	○						◎	○

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-7	中学校	音楽科	音楽 (一般)	第2・3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 ―― 教出	音楽 825 826	中学音楽 音楽のおくりもの		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
上 64	音の三要素 PART-1	2	○内容の取扱い 2-(7)-イ 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導 (上記の項目では自然音や環境音について記されているが、本コーナーでは、音を聞き分ける際に重要な要素のうち、「音量」の物理的な性質について、その原理を解説した。)
下 64	音の三要素 PART-2	2	○内容の取扱い 2-(7)-イ 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導 (上記の項目では自然音や環境音について記されているが、本コーナーでは、音を聞き分ける際に重要な要素のうち、「音高」「音色」の物理的な性質について、その原理を解説した。)

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 2)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容